

殺伐ニシテ教育程度亦低キヲシテ後
令争議ノ件教ハ少キモノ一旦争議
發生スレハ大規模ノ紛争ヲ見時ニハ
孰カノ趨ク如キ暴動化スルヲ從來ノ傾
向ト爲ス

然レ近時鑛業主側ニ於テハ坑夫ノ
殊遇其ノ他ノ向上ヲ圖リケルヲ以テ
幸ニ大正十年甲ノ鑛山労働者ニ

シテ 略 後 業 至 リ 元 ノ 十 二

(一) 官公營事業之從事スル労働者

大正六年迄米 労働争議ハ官利事
業ニリ漸次官公營事業ニ波及シ
交通、通信、械園、電氣事業等
社會公衆ノ利害休戚ニ直接影響
ヲ及スル官公營事業ニシテ争議ノ
發生ヲ見ルニ下 稀ナラス

大正十年甲三月一月中旬午葉新安房